

吉井つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和4年度）2022年

	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	1	19	木	9:15	13:30	シルバー倉庫, ほほえみの里	6名
活動名称	つるほっとベンチプロジェクトのベンチ設置					報告者：小澤 邦彦	

1、活動目的

鶴ヶ島市健康長寿課と鶴ヶ島社会福祉協議会により、推進されている「つるほっとベンチプロジェクト」は、西中の三年生の参加により、高齢者や障害者のためのベンチの設置案について、授業の中で検討され・提案されています。これらの提案を踏まえ、市内の高齢者施設や市内の休憩適地にベンチを寄贈するプロジェクトです。このプロジェクトに里山クラブが参加し、間伐材などを活用してベンチを制作し、寄贈することとした。

2、活動内容ほか

本日は、第一号として「鶴ヶ島ほほえみの郷」の前にある「つるごんバス停」にベンチを寄贈しました。社会福祉法人忠黎明会の常務理事吉田 昇氏、施設長の塩野谷守正さんや健康長寿課の石川さんほか、社会福祉協議会の牧野さん等の参加により、贈呈式をいたしました。

また、シルバー倉庫においてある製材機の動作確認などを行った。

3、評価：

里山の維持活動で伐採された樹木が会員の取組により、半割のベンチに変わり、高齢者施設の利用者の一休みに活用されることになり、新たな分野の方々との連携活動が拡がり、私どもの活動のPR等と合わせ、高齢者の皆さんに役立つことが出来て、活動成果のひとつと評価したいと思います。

4、課題

里山の維持活動で産出される樹木の有効活用を図る仕組の強化などにより、できる限り倒木を製材し、利用できる木材として製品に変えていくシステムを実現したいと思います。

本日、シルバー倉庫にある、余り使用していない製材機を確認し、次回には使用できるように整備し、製材を試して見たいと思います。

今後、3月には、西中の生徒の皆さんが提案された公園のベンチを設置する予定で、その制作も必要となっています。

その際、提案した生徒の皆さんと一緒に設置作業をする予定としています。

彼らの卒業記念としての思い出となるようにしたいと思います。

以上

<里山参加会員>

小嶋、牛島、小澤(邦)、小沼、杉山、鈴木(寿)

<活動写真>



参加会員



設置したベンチ



ベンチの設置作業



ほほえみの郷の皆さん



参加全員写真



製材機の整備